

平成 27 年 度

南港咲洲事業計画書

社会福祉法人 遺徳会

南港咲洲特別養護老人ホーム

南港咲洲養護老人ホーム

## 1. 「人材（量・質）確保と育成」

- 1) 職員採用
- 2) 職員教育
- 3) 幹部職員のグループ活動
- 4) 福利厚生

## 2. 「入所者の健康と安全確保」

- 1) 疾病予防
- 2) 介護事故の減少
- 3) 異常の早期発見早期治療
- 4) 防災訓練

## 3. 「健全財政の確立」

- 1) 稼働率
- 2) 諸経費削減(無駄の排除)
- 3) 施設間の業務統合による管理部門の効率化

## 4. 「快適な生活環境（ソフト&ハード）の提供」

- 1) 衛生管理の徹底
- 2) 諸行事のリフレッシュ化
- 3) 利用者・家族・施設の三者交流

## 5. 「社会貢献」

- 1) 地域の福祉活動参加

## 1. 『人材(量・質)確保と育成』

### 人材の採用

- ① 学校訪問をし就職担当教員とのパイプを作る。また実習受入施設として積極的な受入、活動を図る。
  - ・職員の卒業学校に職員採用要項を持って訪問し人材採用の活動する。
  - ・良い人材確保をする為、実習生の受入れを積極的に行う。
- ② 就職セミナー・採用広告等に力を入れ活動を図る。
- ③ 定着率向上の対策として勤続表彰、優良者(素敵な人)表彰実施。
- ④ 育児と仕事の両立ができる職場作り。

### 人材の教育

- ① 理事長教則により、更なる人柄の向上を目指す。
  - (1)理事長講話
  - (2)毎日朝礼における理事長教則学習
  - (3)輪読会の実施
  - ・毎日朝礼時に1項目を読み、今日1日どのように取り組むか、どう役に立つか等1日の目標を決める。
  - ・サブリーダー以上の職員は、自分が実践している事を発表する。
  - ・終業時に「誉め日記」を書く事により、1日自分が何が出来たかを振り返る。また、素敵な人を選ぶ事により、人柄の向上を図るという目標につなげる。
  - ・職員の内部・外部研修の計画を立て経験年数にあった研修の実施。

### 幹部職員の活動

- ① 年4回の遺徳会全体の幹部研修。
- ② 毎月1回のリーダー・サブリーダー会議。

### 福利厚生

- ① 永年勤続表彰・素敵な人表彰。
- ② 大阪府・府社協等外部団体への推薦。

## 2. 『入所者の健康と安全確保』

### 疾病予防

#### 1)感染症・食中毒発生ゼロ

- ① 医師を中心に情報収集と毎月委員会の開催、事前予防対策の実施。
- ② 食中毒予防月間(6月)、ノロウイルス予防月間(10月)、インフルエンザ予防月間(11月～2月)を定め、全職員の意識向上と予防対策の徹底。
- ③ カンファ水を使い、手指消毒の徹底をする。
- ④ 職員には、出勤時・退勤時の手洗い・うがいの実施。(出勤時の検温測定)
- ⑤ 感染症発生後は緊急の委員会を開催し対応を決定する。

## 2) 褥瘡ゼロ

- ① 情報収集と毎月委員会の開催、職員全員に周知徹底を図る。
- ② 外部・内部研修を通じて職員の褥瘡への意識を高める。
- ③ 体位変換の徹底。
- ④ 栄養管理の徹底。

## 3) 栄養価と美味しさのバランスがとれた食事の提供

- ① 給食委員会を毎月開催、利用者様の状況を把握する。
- ② 嗜好調査、残食量データの分析調査から利用者の嗜好を把握し献立に反映。調味料の変更、食事会を行事に組み入れ新メニューを導入する。
- ③ 3ヶ月に1度の給食ミーティングを実施。委託会社との連携を図る。

## 介護事故の減少

1) 重大事故(自治体に届け出義務)ゼロ  
事故件数の減少

- ① 安全対策委員会は毎月実態を集計、職員全員に周知徹底を図る。また関連委員会での内部勉強会を開催し、委員会から職員意識の向上を図る。
- ② 外部・内部研修を通じて職員の介護事故への意識を高める。
- ③ 事故対策として最も効果があるのは、予防の為に業務改善である。特にリスクの高い利用者様の1日の行動を把握し毎日の業務を行う。
- ④ 安全対策委員会は、事例検討会をう職員1人1人の意見、話し合いの時間を持つ事で意識改革、予知能力の向上を図る。
- ⑤ 事故報告書、ヒヤリ・ハット事例の記入と周知徹底を図る。
- ⑥ 内部研修を行い、介護理論、介護技術、事故が発生する仕組みを職員教育する。

## 2) 虐待ゼロ

- ① 虐待防止委員会は毎月実態を集計、職員全員に周知徹底を図る。また関連委員会での内部勉強会を開催し、委員会から職員意識の向上を図る。
- ② 外部・内部研修を通じて職員の虐待への意識を高める。

## 3) 職員の労災事故ゼロ

- ① 不安全な動作、姿勢をとらないように各職員介護力の向上、体力の向上を図る。
- ② リハビリの先生による、腰痛体操の実施。(月～金)
- ③ 大きな声を出してのラジオ体操の実施。

## 異常の早期発見早期治療

- ① 異常を察知する能力(気づき)を高める為に巡回の回数・質の向上を図る。
- ② 医師・看護師・介護職の連携の強化を図る。
- ③ ご家族様への連絡の徹底を図る。

## 災害防止

- ① 防災訓練（4回／年）実施 ※地震津波訓練含む  
公設消防との合同訓練 6・3(地震) 月 自主訓練 9(地震)・12月
- ② 防災規程等の点検、整備

## 3. 『健全財政の確立』

## 稼働率

## 1) 特養稼働率100%

- ① 入院⇒退所に至る居室を有効活用。
- ② 長期入院者のショート利用徹底。病院との連携を図り、入退院の調整を行う。
- ③ 特養の方の外泊ベッドを利用する。

## 2) ショート稼働率アップ

- ① 稼働率100%を達成維持する。
- ② 居宅、地域包括ととのネットワークを強化する。→行事・交流会への参加、会報の配布。  
サービス担当者会議の参加
- ③ 病院の地域医療との関係を深める。→行事・交流会への参加、会報の配布。地域ケア会議の参加
- ④ 市内の地域包括に情報、会報の配布。
- ⑤ 年2回、病院、居宅への定期訪問をする。

## 3) 養護稼働率100%

- ① 市・区役所との連携を取り空き部屋が出ないように図る。
- ② 市内の地域包括との関係を深め入所希望者の確保を図る。

## 諸経費削減

- ① 徹底した無駄の排除(特に光熱費、水道費)。時間の無駄を排除。
- ② 現在購入の物品に関しても、常に購入価格を比較し購入する。
- ③ 3施設共有の物品は本部で単価交渉し検討する

## 施設間の業務統合による管理部門の効率化

- ① 人事考課を年3回行い給与に反映させている。
- ② 予算会議を年2回(補正予算・収支予算)を行う。

## 4. 快適な生活環境(ソフト&amp;ハード)の提供

## 衛生管理の徹底

## 1) 整容

- ① 入所者の服装、ひげそり、爪切り等の清潔な身だしなみの徹底。
- ② 車いすの点検及び清掃の徹底

## 2) 施設の清掃・美化

- ① 美化委員会を中心に清掃・美化を図りニオイのない施設を目指す。(1日3回の一斉換気)
- ② お掃除が上手でピカピカ施設を目指している人賞の推進

## 諸行事のリフレッシュ化

- 1) 四季折々の行事や特別料理は利用者の大きな楽しみである。マンネリ化しないように職員の創意工夫が求められる。
- ① 行事の内容が毎年同じにならない様に、行く場所を変えるなど工夫し楽しんでもらえる様にする。
  - ② 行事時の特別料理は、利用者の好みを事前に調査し、利用者の好きな物を取り入れ楽しんでもらう。
  - ③ レクリエーションは、各階人気のあるクラブを多く取り入れ、各階で行うクラブが異なるようにし、他の階の利用者がいろいろなクラブを選び参加して頂く。
  - ④ 行事班の徹底
    - ・行事前には話し合いの場を持ち事前準備を万全に行う。
    - ・行事後すぐに反省会を持つ事で今後につなげる。
    - ・各階で行事を行う事で、利用者様の身体への負担を軽減する。行事に携わる職員を固定する事でスムーズな進行を図る。
  - ⑤ ご家族・ボランティア等の参加者増を図る為に連携を強化する。

## 平成27年度 行事計画

月	行事名	内 容
4 月	お花見 & 買い物ツアー	場所:南港中央公園/デイリーカナート 南港中央公園の桜が咲く時期に合わせて、散歩を兼ねお花見に行く。 温かいお汁粉を飲んだり季節の歌を歌い、春の訪れを感じて頂く。 事前に希望者を募り、帰りに近くのスーパーで買い物をして頂く。
5 月	外食会 回転寿司	場所:かっぱ寿司orくら寿司 遠足。施設からお店までのドライブも兼ね、いつもとは違う雰囲気ですりおしゃべりを楽しんで頂く。
6 月	運 動 会	5階フロアにて、紅白に分かれて風船パレーや、借り物競走等で点を競い合う。 途中、職員による応援団や組み体操等の出し物もあり。
7 月	七夕祭り	レクリエーションの時間で短冊に願い事を書いたり、笹に飾り付けをする。昼食には七夕の特別食を提供。
8 月	盆 踊 り	5階フロア(2部制)中央にやぐらを組み「炭坑節」や「河内男節」など馴染みのある曲を中心とした盆踊りを開催。 ボランティアの踊り子さんにも来て頂き、利用者様も職員も浴衣をきて雰囲気作りを行う。
9 月	敬 老 会	5階フロアの舞台にて職員による出し物(ソーラン節・マジックショー)や全員で祝いの歌等を歌い、長寿をお祝いする。
10 月	秋 祭 り	場所は施設駐車場。 たこ焼きやおでん等の屋台をだして外で食事をして頂く。千本引きやコイン落とし等の縁日も出し、お祭りの雰囲気をご家族様と一緒に楽しんで頂く。
11 月	のど自慢大会	全フロアから、歌自慢の方々が参加され、自慢の1曲を披露して頂く。 一番、会場を盛り上げた利用者様には、MVP賞が贈られる。
12 月	クリスマス会	咲洲ロータリークラブと相愛大学の学生さん方がボランティアに来て下さり、歌や演奏を披露し一緒にクリスマスを楽しんで頂く。咲洲ロータリークラブ様からのプレゼント贈呈あり。
	餅つき 焼き芋の日	駐車場で餅つき。利用者様に参加してもらうことで、もうすぐお正月という雰囲気を感じて頂く。 1階ロビーにて焼き芋を焼き、焼きたてを食べて頂き、冬を感じて頂く。
1 月	初 詣	1～3日の中で、施設内各フロアに手作りの神社を設置し、お正月の音楽流したり、職員が巫女の格好をし、神社を演出する。
	焼き芋の日	1階ロビーにて焼き芋を焼き、焼きたてを食べて頂き、冬を感じて頂く。
2 月	節 分	各フロアにて、レクリエーションの時間を作り節分についての説明を行う。 節分の意味が分かったところで、音楽を怖い雰囲気のものに変え鬼が登場する。 音楽と鬼の衣装が一層雰囲気を作り出し職員の見守りのもと豆まきを行う。
	焼き芋の日	1階ロビーにて焼き芋を焼き、焼きたてを食べて頂き、冬を感じて頂く。
3 月	ひな祭り	各フロアで、飾りつけ等で雰囲気作りを行い特別食を提供する
	焼き芋の日	1階ロビーにて焼き芋を焼き、焼きたてを食べて頂き、冬を感じて頂く。

**利用者・家族・施設の三者交流**

- ① 行事への家族参加を呼び掛けて三者交流の場を多くする。
- ② 家族懇談会を年に2回開催する。  
施設の状況、法令等の動向などの情報を提供し、施設への理解を深め信頼関係を築く。
- ③ 家族様からの意見、要望を聞き、改善する事でサービスの向上を図る。

**5. 社会貢献**

## 1) 施設の地域社会貢献

- ① 施設は地域の中での重要な社会資源であるという自覚のもと、ボランティア・慰問を積極的に受入れる。
- ② 実習生・職場体験等の受入れを積極的に受け入れる。
- ③ 地域の相談窓口になるようにする。
- ④ 地域活動の研修・講義への職員参加
- ⑤ 働く場ガイダンス、地域の中学生との交流

## 2) 居宅支援事業者・福祉施設・地域医療とのネットワーク構築

- ① 施設幹部の定期的な事業所訪問。
- ② 施設の情報、ホームページ・会報の配布、etc

## 3) 地域ケア会議の参加

- ① 住之江区介護連携推進協議会参加
- ② 住之江区運営協議会の参加
- ③ 住之江区障がい者高齢者虐待防止連絡会参加

# 各部門平成27年度計画

---

## 〈事務所部門〉

- 目 標
- ・明るい挨拶、親しみや優しさが伝わる対応をします。
  - ・報告、連絡を徹底し、施設全体を支えます。
  - ・いつも相手様中心の心遣いをします。
- 

## 〈医務部門〉

- 目 標
- ・ターミナルに対するケアを充実させます。
  - ・ショートステイの利用者様の情報をショート担当者と共有します。
  - ・入所者様の高齢化に伴う看護をケアマネ・介護士と情報を共有し高めていきます。
- 

## 〈介護部門〉

### \* 安全対策委員会

- 基本方針
- ・事故件数を昨年度より減少させる。
- 目 標
- ・各フロアでショートステイの利用者様の対応、情報を共有し事故を未然に防ぐ。
  - ・ヒヤリ・ハット事例を充実させ職員の意識を高める。
- 

### \* 美化委員会

- 基本方針
- ・清潔さを保ち、汚れ・臭いのないピカピカ施設にする。
- 目 標
- ・そうじピカピカ賞を継続する。
  - ・換気の時間を決めて実施する(1日3回以上)
  - ・備品を大切に丁寧に使用する。
- 

### \* リハビリ委員会

- 基本方針
- ・利用者様の残存機能を維持する。
- 目 標
- ・拘縮予防を行う。
  - ・機能訓練士と介護職員が協力しリハビリの質の向上を図る。
- 

### \* 虐待防止委員会

- 基本方針
- ・身体拘束ゼロ。
- 目 標
- ・スピーチロックの内部研修を行う。
  - ・介護困難事例は委員会で話し合い介助方法の提案を行う。



## \* 食事委員会

- 基本方針 ・調理の工夫と季節に合った旬の食材を取り入れ、美味しい食事を提供します。
- 目 標 ・食中毒ゼロ。異物混入ゼロ。
- ・調理の味のバラつきを無くし常に美味しい食事を提供します。
- 

## \* 行事委員会

- 基本方針 ・文化や季節感を大切に、利用者様と家族様が一緒に楽しめる企画を考え、行事がマンネリ化しないように新しい内容を取り入れる。
- 目 標 ・事前にポスターや施設の飾り付けを行い、雰囲気作りをすると共に、家族様に参加して頂けるよう告知する。
- ・早い段階から準備に取り組み、会議を設けることで改善点を見つけ行事の安全面に配慮する。
- 

## \* 感染・衛生委員会

- 基本方針 ・感染症ゼロの実現(インフルエンザを3年間発生させない)
- 目 標 ・職員一人一人の感染症に対する意識の向上。
- ・職員の出勤、退勤時の手洗い、うがい、手指消毒の徹底。
- ・内部研修の充実を図る。
- 

## \* 褥瘡委員会

- 基本方針 ・褥瘡ゼロ
- 目 標 ・内部研修の充実を図る。
- ・リスクスケールをもちいて、高リスク者への対応を充実させる。
- 

## \* 物品委員会

- 基本方針 ・備品を大切に管理します。
- 目 標 ・備品を無駄使いせず大切に使用します。
- ・パットの使用量を把握します。
-

## 平成27年度 内部研修 予定表

	研修項目	
4月	法令遵守	所長代理
	口腔ケア	歯科衛生士
5月	介護保険制度	ケアマネ
	認知症	看護師
	口腔ケア	歯科衛生士
6月	感染症予防(食中毒)	栄養士
	人権について	事務長
	口腔ケア	歯科衛生士
7月	安全対策	安全対策委員
	ターミナルケア	看護師
	褥瘡予防	褥瘡防止委員
	口腔ケア	歯科衛生士
8月	痰・吸引	看護師
	プライバシー保護の取り組み	所長代理
	虐待防止	虐待防止委員
	口腔ケア	歯科衛生士
9月	法令遵守	所長代理
	リハビリ	機能訓練指導員
	口腔ケア	歯科衛生士
10月	感染症予防(ノロ・インフルエンザ)	感染予防委員
	口腔ケア	歯科衛生士
11月	褥瘡予防	褥瘡防止委員
	口腔ケア	歯科衛生士
12月	安全対策	安全対策委員
	人権について	所長代理
	口腔ケア	歯科衛生士
1月	痰・吸引	看護師
	口腔ケア	歯科衛生士
2月	ターミナルケア	看護師
	虐待防止	褥瘡防止委員
	口腔ケア	歯科衛生士
3月	口腔ケア	歯科衛生士
	褥瘡予防	褥瘡防止委員
	予備日	